

# インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第18作成期 (2020年11月27日から2021年5月26日まで)

第 103 期 / 第 104 期 / 第 105 期  
決算日2020年12月28日 決算日2021年1月26日 決算日2021年2月26日

第 106 期 / 第 107 期 / 第 108 期  
決算日2021年3月26日 決算日2021年4月26日 決算日2021年5月26日

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2022年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 K インディア・インカム・ファンド 主に米ドル建てのインドの債券等 コタック・フレキシ・デット・ファンド (クラスA) 主にインドルピー建てのインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つ「コタック・マヒンドラ」グループが行います。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 証券組入 比率	純資産額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第14 作成期		円	円	%	%	百万円
	79期(2018年12月26日)	5,338	70	1.4	97.1	75,121
	80期(2019年1月28日)	5,170	70	△1.8	94.7	71,438
	81期(2019年2月26日)	5,169	70	1.3	96.4	70,524
	82期(2019年3月26日)	5,295	70	3.8	96.9	71,354
	83期(2019年4月26日)	5,251	70	0.5	95.9	70,598
第15 作成期	84期(2019年5月27日)	5,173	70	△0.2	93.3	69,524
	85期(2019年6月26日)	5,073	70	△0.6	94.9	68,018
	86期(2019年7月26日)	5,131	70	2.5	96.5	68,537
	87期(2019年8月26日)	4,841	70	△4.3	96.1	64,500
	88期(2019年9月26日)	4,860	70	1.8	96.5	64,165
	89期(2019年10月28日)	4,915	40	2.0	94.2	64,648
第16 作成期	90期(2019年11月26日)	4,863	40	△0.2	97.0	60,800
	91期(2019年12月26日)	4,884	40	1.3	96.8	58,529
	92期(2020年1月27日)	4,895	40	1.0	96.2	57,206
	93期(2020年2月26日)	4,962	40	2.2	96.5	55,906
	94期(2020年3月26日)	4,190	40	△14.8	94.5	45,516
	95期(2020年4月27日)	4,261	40	2.6	91.7	45,635
第17 作成期	96期(2020年5月26日)	4,365	40	3.4	96.8	46,325
	97期(2020年6月26日)	4,420	40	2.2	97.0	45,699
	98期(2020年7月27日)	4,451	40	1.6	96.3	44,891
	99期(2020年8月26日)	4,452	40	0.9	96.4	44,020
	100期(2020年9月28日)	4,432	40	0.4	96.3	42,797
	101期(2020年10月26日)	4,419	40	0.6	95.5	41,686
第18 作成期	102期(2020年11月26日)	4,436	40	1.3	96.5	39,775
	103期(2020年12月28日)	4,423	40	0.6	96.5	38,313
	104期(2021年1月26日)	4,430	40	1.1	95.0	37,883
	105期(2021年2月26日)	4,496	40	2.4	96.6	37,375
	106期(2021年3月26日)	4,568	40	2.5	92.2	36,425
	107期(2021年4月26日)	4,350	40	△3.9	95.7	33,825
	108期(2021年5月26日)	4,517	40	4.8	96.0	34,066

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

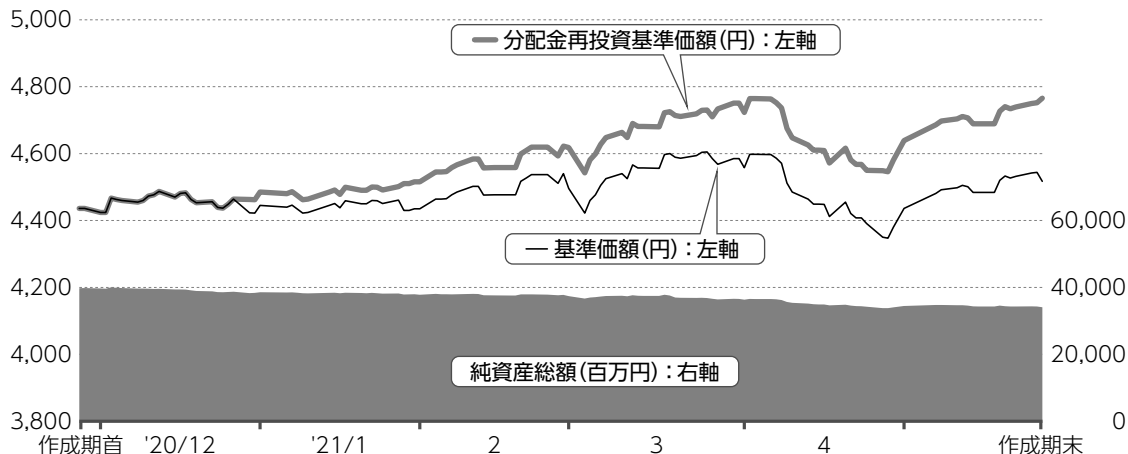
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	
第103期	(期 首) 2020年11月26日	4,436	—	96.5
	11月末	4,424	△0.3	96.4
	(期 末) 2020年12月28日	4,463	0.6	96.5
第104期	(期 首) 2020年12月28日	4,423	—	96.5
	12月末	4,445	0.5	96.4
	(期 末) 2021年1月26日	4,470	1.1	95.0
第105期	(期 首) 2021年1月26日	4,430	—	95.0
	1月末	4,435	0.1	95.3
	(期 末) 2021年2月26日	4,536	2.4	96.6
第106期	(期 首) 2021年2月26日	4,496	—	96.6
	(期 末) 2021年3月26日	4,608	2.5	92.2
第107期	(期 首) 2021年3月26日	4,568	—	92.2
	3月末	4,558	△0.2	92.2
	(期 末) 2021年4月26日	4,390	△3.9	95.7
第108期	(期 首) 2021年4月26日	4,350	—	95.7
	4月末	4,436	2.0	95.9
	(期 末) 2021年5月26日	4,557	4.8	96.0

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年11月27日から2021年5月26日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,436円
作成期末	4,757円 (当作成期分配金240円(税引前)込み)
騰落率	+7.4% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### 基準価額の主な変動要因（2020年11月27日から2021年5月26日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

### 上昇要因

- 新型コロナウイルスに対するワクチンの接種率上昇により経済再開期待が高まったことを背景に、投資家のリスク選好の動きが強まったことで、米ドル建てインド債券市場、インドルピー建てインド債券市場が上昇したこと
- 作成期を通してみれば、インドルピーが対円で上昇したこと

### 組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
K インディア・インカム・ファンド	外国債券	83.3%
コタック・フレキシシー・デット・ファンド(クラスA)	外国債券	12.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2020年11月27日から2021年5月26日まで）

インドルピー建てインド債券市場、米ドル建てインド債券市場はともに上昇しました。  
為替市場では、インドルピーは円に対して上昇しました。

## 債券市場

インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。インド国債利回りは上昇（価格は下落）しましたが、クーポン収入の高さなどを背景に、トータルのリターンはプラスとなりました。インド国債市場は、作成期初から2021年初にかけては横ばいの動きとなり、その後は2月にかけて債券利回りが大きく上昇しました。3月から作成期末にかけては、低下傾向となりました。結局作成期を通じて国債利回りはやや上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。米国金利の上昇や原油価格、商品価格の上昇などを背景としたインド経済のインフレ懸念から年明けから2月にかけて債券利回りが上昇しました。しかし、3月から4月にかけては、原油市況が下落したことや、新型コロナウイルスの新規感染者が急増したことに伴う都市部における部分的ロックダウン（都市封鎖）や外出制限の発表を受けて、年内の利上げ観測が後退し、利回りは低下しました。5月に入り新規感染者数にやや落ち着きがみられたことで海外投資家の安心感につながったことや、RBI（インド準備銀行）による債券市場支援策継続への期待感、米国金利の上昇が一服したことなどが

債券市場を下支えました。

米ドル建てインド債券市場も上昇しました。米国国債利回りは上昇しましたが、スプレッド（米国国債利回りに対する上乗せ金利）の縮小が寄与しました。米国国債利回りは作成期初から年内にかけてはもみあい推移しました。経済活動正常化に伴う景気加速期待から2021年に入り3月まで上昇を続け、その後は作成期末まで概ね横ばいで推移しました。世界の主要中央銀行が、市場を下支えする十分な金融緩和政策を行っていることが好感され、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから、当作成期の前半にかけてスプレッドが縮小（一般に債券価格の上昇要因）しました。3月以降のインドでの感染者数の増大や経済の停滞が懸念材料となり、スプレッドは拡大しましたが、その後は概ね横ばいで推移しました。スプレッドは作成期を通してみれば縮小しました。

当作成期の市場の動きをJPモルガン・GBI-EMインド（現地通貨ベース）インデックスで見ると約1.2%上昇しました。JPモルガン・CEMBI Broadインド（米ドルベース）インデックスは、約3.5%上昇しました。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### 為替市場

インドルピーは作成期を通してみれば対円で上昇しました。主要国の経済支援策やワクチン接種の進展による経済活動の正常化期待などから、投資家心理が改善しました。ただ

し、4月には、インドにおいて感染者数が急増したことなどを背景に、インドルピーが下落する局面もありました。

当作成期のインドルピー・円は、作成期首1円43銭から作成期末1円50銭と0円07銭のインドルピー高・円安となりました。

### ポートフォリオについて（2020年11月27日から2021年5月26日まで）

#### 当ファンド

「Kインドア・インカム・ファンド」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）」を高位に組み入れることにより、運用を行いました。

#### コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。作成期前半はポートフォリオの平均デュレーション（投資資金の平均回収期間）を7年程度としました。作成期後半にかけてはデュレーションを短期化し、足もとは3年から4年程度としています。短期的には経済停滞が懸念されることに加え、先進国の長期金利の高止まり、原油や商品価格の上昇によるインフレ懸念に対応するためです。当作成期は引き続き国債、国営企業債、社債を中心にポートフォリオを構築しました。

#### Kインドア・インカム・ファンド

主に米ドル建てのインドの社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。作成期を通じて、満期までの期間が4年から5年までの債券を多めに保有しました。

### ベンチマークとの差異について（2020年11月27日から2021年5月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### 分配金について（2020年11月27日から2021年5月26日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ40円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	(0.896%)	(0.895%)	(0.882%)	(0.868%)	(0.911%)	(0.878%)
当期の収益	38	39	40	40	39	40
当期の収益以外	1	0	－	－	0	－
翌期繰越分配対象額	573	573	574	575	574	577

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド」および「コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

### K インディア・インカム・ファンド

米ドル建てのインドの社債については、足もとでのインド経済の停滞には注意する必要

があるものの、ワクチンの普及により、世界経済が回復に向かいつつあることはポジティブに捉えています。今後は、業績回復が期待しづらい企業が一部でみられる一方で、新型コロナウイルスの影響下でも順調に業績を伸ばす企業や、新たに操業する企業が出現するなど、市場全体の回復傾向に変化が起きていくと考えています。

ただし、新型コロナウイルスの感染拡大については今後も不透明な状況が続くことから、市場の変動が大きくなる場合に備えて、引き続き信用力の高い銘柄を中心に投資をしていきます。



## コタック・フレキシィー・デット・ファンド (クラスA)

インドでの新型コロナウイルスの新規感染者数は、2021年5月初め頃をピークに足もとでは徐々に減少傾向に転じています。原油や商品価格の上昇などでインフレ率がやや高止まりしており、利下げは期待しづらい環境ですが、RBIは企業の資金繰り支援に加えて、長期債の購入を継続するなど様々な金融支援策を実施してきました。今後も政策を総動員して経済を下支えする意向をみせているものの、ワクチン接種率の上昇に伴い経済が回復すれば政策も正常化に向かう可能性が高いと考えています。デュレーションは現在の水準を継続する方針です。

### 3 お知らせ

#### 約款変更について

該当事項はございません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 1万口当たりの費用明細（2020年11月27日から2021年5月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	24円	0.545%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数）
（投信会社）	(7)	(0.147)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(17)	(0.382)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	24	0.547	

期中の平均基準価額は4,465円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

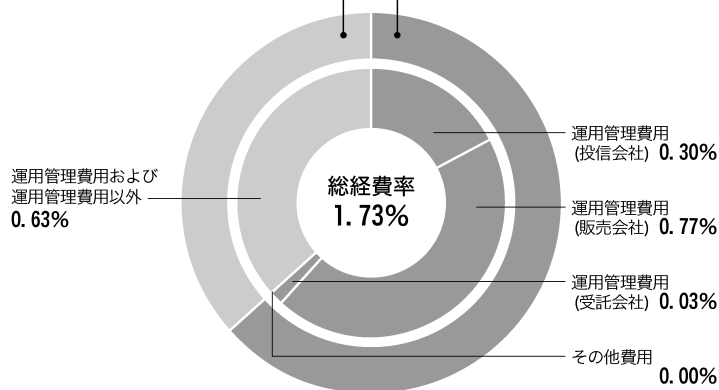
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

### 参考情報 総経費率（年率換算）

#### ■ 2 投資先ファンドの費用 0.63%    ■ 1 当ファンドの費用 1.10%



<b>総経費率 (1 + 2)</b>	<b>1.73%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	1.10%
<b>2 投資先ファンドの費用の比率</b>	0.63%

## インド債券ファンド（毎月分配型）

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.73%です。

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2020年11月27日から2021年5月26日まで)

#### 投資信託証券

		当作成期			
		買付		売付	
		口数	買付額	口数	売付額
国内	Kインディア・インカム・ファンド	2,527,478	3,943,000	1,890,359	2,917,000
	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	—	—	507,302	7,433,000
合計		2,527,478	3,943,000	2,397,661	10,350,000

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 利害関係人との取引状況等(2020年11月27日から2021年5月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年11月27日から2021年5月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 組入れ資産の明細 (2021年5月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首		作成期末	
	口数	口数	評価額	組入比率
	□	□	千円	%
Kインディア・インカム・ファンド	17,770,648	18,407,767	28,373,252	83.3
コタック・フレキシ・デット・ファンド（クラスA）	796,372	289,070	4,331,583	12.7
合計	18,567,021	18,696,838	32,704,836	96.0

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 投資信託財産の構成

(2021年5月26日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	32,704,836	94.5
コール・ローン等、その他	1,920,310	5.5
投資信託財産総額	34,625,146	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年12月28日) (2021年1月26日) (2021年2月26日) (2021年3月26日) (2021年4月26日) (2021年5月26日)

項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
<b>(A) 資産</b>	<b>38,928,785,371円</b>	<b>38,487,788,408円</b>	<b>38,031,880,076円</b>	<b>38,755,227,854円</b>	<b>34,380,665,449円</b>	<b>34,625,146,792円</b>
コール・ローン等	1,944,429,557	1,811,306,051	1,928,962,588	3,679,933,103	2,024,552,238	1,675,310,231
投資証券(評価額)	36,984,355,814	35,993,482,357	36,102,917,488	33,586,294,751	32,356,113,211	32,704,836,561
未収入金	-	683,000,000	-	1,489,000,000	-	245,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>615,176,821</b>	<b>604,212,005</b>	<b>656,140,392</b>	<b>2,329,245,320</b>	<b>555,176,166</b>	<b>558,447,187</b>
未払金	-	-	-	1,637,000,000	-	-
未払収益分配金	346,486,131	342,073,238	332,497,208	318,982,300	311,034,030	301,695,343
未払解約金	230,574,795	228,457,375	288,143,006	341,688,888	210,806,111	225,513,865
未払信託報酬	37,972,802	33,523,734	35,357,658	31,419,511	33,174,442	31,092,280
未払利息	5,593	4,714	5,020	10,586	-	4,589
その他未払費用	137,500	152,944	137,500	144,035	161,583	141,110
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>38,313,608,550</b>	<b>37,883,576,403</b>	<b>37,375,739,684</b>	<b>36,425,982,534</b>	<b>33,825,489,283</b>	<b>34,066,699,605</b>
元本	86,621,532,754	85,518,309,600	83,124,302,200	79,745,575,132	77,758,507,741	75,423,835,875
次期繰越損益金	△48,307,924,204	△47,634,733,197	△45,748,562,516	△43,319,592,598	△43,933,018,458	△41,357,136,270
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>86,621,532,754口</b>	<b>85,518,309,600口</b>	<b>83,124,302,200口</b>	<b>79,745,575,132口</b>	<b>77,758,507,741口</b>	<b>75,423,835,875口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>4,423円</b>	<b>4,430円</b>	<b>4,496円</b>	<b>4,568円</b>	<b>4,350円</b>	<b>4,517円</b>

※当作成期における作成期首元本額89,660,330,146円、作成期中追加設定元本額1,608,594,846円、作成期中一部解約元本額15,845,089,117円です。  
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 損益の状況

(自2020年11月27日 至2020年12月28日) (自2020年12月29日 至2021年1月26日) (自2021年1月27日 至2021年2月26日) (自2021年2月27日 至2021年3月26日) (自2021年3月27日 至2021年4月26日) (自2021年4月27日 至2021年5月26日)

項 目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(A) 配 当 等 取 益	372,936,918円	370,396,546円	362,267,986円	334,151,758円	336,777,866円	329,211,905円
受 取 配 当 金	373,049,612	370,490,496	362,404,240	334,278,599	336,931,133	329,329,093
支 払 利 息	△ 112,694	△ 93,950	△ 136,254	△ 126,841	△ 153,267	△ 117,188
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 102,583,656	62,994,284	557,788,006	585,263,563	△ 1,684,319,615	1,258,139,814
売 買 益	49,911,725	132,873,297	570,422,048	603,533,788	19,560,991	1,293,550,832
売 買 損	△ 152,495,381	△ 69,879,013	△ 12,634,042	△ 18,270,225	△ 1,703,880,606	△ 35,411,018
(C) 信 託 報 酬 等	△ 38,110,302	△ 33,676,678	△ 35,495,158	△ 31,563,546	△ 33,336,025	△ 31,239,491
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	232,242,960	399,714,152	884,560,834	887,851,775	△ 1,380,877,774	1,556,112,228
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△18,039,837,562	△17,853,628,013	△17,242,231,899	△15,967,611,166	△14,973,121,154	△16,094,856,914
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△30,153,843,471	△29,838,746,098	△29,058,394,753	△27,920,850,907	△27,267,985,500	△26,516,696,241
( 配 当 等 相 当 額 )	( 4,938,026,530)	( 4,866,769,109)	( 4,730,790,229)	( 4,538,789,963)	( 4,425,958,549)	( 4,293,428,385)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△35,091,870,001)	(△34,705,515,207)	(△33,789,184,982)	(△32,459,640,870)	(△31,693,944,049)	(△30,810,124,626)
(G) 計 ( D + E + F )	△47,961,438,073	△47,292,659,959	△45,416,065,308	△43,000,610,298	△43,621,984,428	△41,055,440,927
(H) 収 益 分 配 金	△ 346,486,131	△ 342,073,238	△ 332,497,208	△ 318,982,300	△ 311,034,030	△ 301,695,343
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△48,307,924,204	△47,634,733,197	△45,748,562,516	△43,319,592,598	△43,933,018,458	△41,357,136,270
追 加 信 託 差 損 益 金	△30,162,505,625	△29,838,746,098	△29,058,394,753	△27,920,850,907	△27,267,985,500	△26,516,696,241
( 配 当 等 相 当 額 )	( 4,929,364,376)	( 4,866,769,109)	( 4,730,790,229)	( 4,538,789,963)	( 4,425,958,549)	( 4,293,428,385)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△35,091,870,001)	(△34,705,515,207)	(△33,789,184,982)	(△32,459,640,870)	(△31,693,944,049)	(△30,810,124,626)
分 配 準 備 積 立 金	34,520,174	33,508,284	48,261,947	49,871,840	40,901,197	60,539,298
繰 越 損 益 金	△18,179,938,753	△17,829,495,383	△16,738,429,710	△15,448,613,531	△16,705,934,155	△14,900,979,327

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(a) 費用控除後の配当等収益	334,826,616円	341,616,457円	348,293,542円	322,681,565円	303,441,841円	322,732,835円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	4,938,026,530	4,866,769,109	4,730,790,229	4,538,789,963	4,425,958,549	4,293,428,385
(d) 分配準備積立金	37,517,535	33,965,065	32,465,613	46,172,575	48,493,386	39,501,806
(e) 分配可能額 (a+b+c+d)	5,310,370,681	5,242,350,631	5,111,549,384	4,907,644,103	4,777,893,776	4,655,663,026
1万口当たり分配可能額	681	613	614	615	614	617
(f) 分配金額	346,486,131	342,073,238	332,497,208	318,982,300	311,034,030	301,695,343
1万口当たり分配金額(税引前)	40	40	40	40	40	40

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。</li> <li>・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> <li>・非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。</li> </ul>
決算日	年1回決算（原則として、毎年9月30日。休業日の場合は前営業日）
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、上記の料率の一部には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 包括利益計算書 (2019年10月1日から2020年9月30日)

(単位：米ドル)

投資収益	12,071,613
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る受取利息	12,071,613
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純損失	(2,498,941)
デリバティブに係る純利益	6,617,798
	16,190,470
費用	
管理事務代行報酬	10,000
運用報酬	1,824,355
保管報酬	39,478
専門家報酬	19,828
保険料	4,863
その他費用	59,985
監査報酬	11,000
為替差損	498,274
取締役報酬	4,000
	2,471,783
	13,718,687
金融費用控除前純投資収益	13,718,687
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	(50,414,993)
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(36,696,306)

### ■ 組入上位10銘柄

(基準日：2020年9月29日)

銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1 NTPC 3.75% 03/04/2024	USD	3.750%	2024/4/3	5.80%
2 Bank of Baroda 3.50% 04/04/2022	USD	3.500%	2022/4/4	5.78%
3 EXIM Bank 3.25% 15/01/2030	USD	3.250%	2030/1/15	5.53%
4 Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/2/13	5.24%
5 Indian Oil Corp 4.75% 16/01/2024	USD	4.750%	2024/1/16	4.50%
6 OIL India 5.125% 04/02/2029	USD	5.125%	2029/2/4	4.01%
7 Canara Bank 3.25% 10/08/2022	USD	3.250%	2022/8/10	3.79%
8 Canara Bank 3.875% 28/03/2024	USD	3.875%	2024/3/28	3.48%
9 OIL India 4.00% 21/04/2027	USD	4.000%	2027/4/21	3.44%
10 Rural Electrification Corporation 3.875% 07/07/2027	USD	3.875%	2027/7/7	3.40%
全銘柄数			44銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### 投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。</li> <li>・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> <li>・非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。</li> </ul>
決算日	年1回決算（原則として、毎年3月31日。休業日の場合は前営業日） ただし、決算日は変更される場合があります。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	年0.64%程度* *上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、上記の料率の一部には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。



## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 包括利益計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日)

(単位：米ドル)

#### 投資収益

損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる純損失	(6,485,263)
為替にかかる純未実現損失	(141,129)
利息収入	14,449,843
	7,823,451

#### 費用

投資運用報酬及び保管報酬	1,574,467
その他の営業費用	19,701
管理事務代行報酬	30,000
監査報酬	12,000
専門家報酬	22,079
営業費用合計	1,658,247

金融費用控除前営業利益（損失）	6,165,204
税引前利益	6,165,204
所得税費用	(2,024,075)
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増加額	4,141,129

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 組入銘柄

（基準日：2020年3月31日）

	銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	比率(%)
1	7.57% GOI 17/06/2033	I N R	7.57	2033/06/17	15.34
2	7.60% Bajaj Finance Limited 11/02/2030	I N R	7.60	2030/02/11	11.66
3	9.25% Power Finance Corporation Limited (Series 184 A) 25/09/2024	I N R	9.25	2024/09/25	9.48
4	8.45% Sikka Ports & Terminal Limited 12/06/2023	I N R	8.45	2023/06/12	8.67
5	7.18% Canara Bank (SR I) 11/03/2030	I N R	7.18	2030/03/11	8.34
6	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 31/12/2022	I N R	7.82	2022/12/31	6.27
7	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 30/06/2022	I N R	7.82	2022/06/30	6.19
8	8.97% UP Power Corporation Limited ( SERIES III - D) 15/02/2024	I N R	8.97	2024/02/15	6.19
9	9.00% Muthoot Finance Limited (Series VI) 19/04/2023	I N R	9.00	2023/04/19	4.21
10	8.97% UP Power Corporation Limited ( SERIES III - C) 15/02/2023	I N R	8.97	2023/02/15	4.21
11	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series F) 18/10/2024	I N R	9.75	2024/10/18	3.64
12	7.50% Rural Electrification Corporation Limited (SR 192) 28/02/2030	I N R	7.50	2030/02/28	3.62
13	7.98% National Highway Authority of India 23/12/2049	I N R	7.98	2049/12/23	3.08
14	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series E) 20/10/2023	I N R	9.75	2023/10/20	2.79
15	9.25% JM Financial Credit Solutions Ltd (TR 1 Option 1) 07/08/2021	I N R	9.25	2021/08/07	0.82
16	9.00% Shriram Transport Finance Co. Ltd (option 1) 28/03/2028	I N R	9.00	2028/03/28	0.77
17	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series G) 20/10/2025	I N R	9.75	2025/10/20	0.49
18	8.30% Indian Railway finance corporation Limited (Series 134) 25/03/2029	I N R	8.30	2029/03/25	0.45
19	8.30% NTPC LIMITED (Series-67) 15/01/2029	I N R	8.30	2029/01/15	0.44

※比率は純資産総額に対する割合

※上記はコタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）からデータの提供を受けて三井住友D Sアセットマネジメントが作成